



いのちを守る活動 三五の森づくり
株式会社三五

（HP 寄稿通算回数）

株式会社三五は、東北の森づくり活動を応援しています。

東日本大震災発生後、社長自らが行った現地訪問の際、「被災地の人には自分の生活を守ることで精一杯。千年先まで命を守る森の防潮堤づくりに協力して欲しい」と森の防潮堤協会理事長 日置道隆住職から依頼されたことがきっかけとなり、2012 年から被災地の森づくり活動を支援しています。

三五では、宮城県から送られてくるどんぐりを自社工場内で育て、苗木として再び宮城県へ送っています。これらの苗木を植樹祭で植えていただき、将来万が一のことがあっても、成長した森が津波の力を減衰し、引き波による人やものの流出を防ぐ「森の防潮堤」になることを期待して、6年間で累計2万本以上の苗木を提供してきました。

震災の被災地 宮城県岩沼市では、津波で防潮林が流された海岸沿いに木を植える活動が続いています。今年出荷する苗木は、4月21日に開催される「復興支援ありがとうの森2020～岩沼市千年希望の丘、海に見える植樹祭」で、三五の従業員も含めた全国からのボランティアによって植えられる予定です。

三五は、植樹を通して“いのちを守る森”ができるように、これからも活動を続けていきます。

